

農業共済新聞

NOSAI 全国農業共済協会
〒102-8411 東京都千代田区一番町19番地
購読 ☎03-3263-6413
編集 ☎03-3263-6727
月4回・水曜日発行
©全国農業共済協会2017
http://www.nosai.or.jp/

品質向上と収量増加の両方に大きく貢献するたまたの肥料
アマイロリッカ
甘彩六花 シリーズ
アマイロリッカ 検索
アマイロリッカ
甘彩六花株式会社
TEL:03-5213-4658 FAX:03-5213-4691

鎌倉大根

由比ヶ浜に自生するハマダイコン。鎌倉だいこん未来研究クラブは、これを採種し鎌倉大根として育てた▼



神奈川県鎌倉市の由比ヶ浜に昔から自生するハマダイコン(浜大根)を、「鎌倉大根」と命名し採種・栽培イベントや勉強会を開き栽培の復活と普及をめざす動きが目立っている。地元市民グループ「鎌倉だいこん未来研究クラブ」(約30人)を代表として、江ノ島・伝統野菜研究会代表の大竹道茂さん(左)をアドバイザーに、自治体や地元のハマダイコンにまつわる古い伝承が残る神社と連携、同市関谷の鎌倉野菜生産農家の山森金雄さん(右)も栽培に加わり、地元の特産野菜として根付かせる取り組みが本格化してきた。

鎌倉だいこん未来研究クラブ

神奈川県鎌倉市



鎌倉だいこん未来研究クラブでは、「鎌倉大根作りヨロコブプロジェクト」と銘打って栽培し、イベントを積極的に開催。ホームパーティなどで参加者を募り、年内に開催した収穫祭には約50人が参加。栽培コンクールも実施した。さくら代表は「鎌倉大根は、一般的なダイコンのように「出来上がりはこうなる」というのがない。人や圃場によって、いろいろな姿を見せる。その自由さに魅力を感じる人が集まっている」と話す。



鎌倉大根収穫祭ではクラブメンバーをはじめ多数が参加し、佐助稲荷神社で奉納式と栽培コンクールの表彰式が行われた。前列左から3人目がさくら代表。

伝承が魅力のハマダイコン 農家も栽培普及を加速

栽培コンクールの審査を務める中の人々を救うという物語。鎌倉市佐助の料理店「福来鳥」で約20年前から大根料理を専門に提供する、さくら代表は、そのストーリーに魅力を感じ、復活させようと開店当初から活動してきた。大竹さんや山森さんといった外部の協力者や自治体の支援を得て、鎌倉だいこん未来研究クラブは今年も栽培に臨む。さくら代表は「一生懸命取り組んでくれる若手がいる。育て方や食べ方など、手

援を行える体制がなく、人材も不足している組織が多い。組織の壁を越え施設や人材の広域的な活用を実現するためにも、指定団体の各農家は、人手を削減するとともに、農家のニーズに対応した支援の強化を進めていくべきだろう。

取り組である。牛乳・乳製品の安全性確保をはじめとして、生産者組織単独でできる機能は限られてきている。乳価交渉も対決が先行している。乳価交渉も対決が先行している。乳価交渉も対決が先行している。

地域ブランドの新顔に

掛ける人によって新たな発見が尽きない鎌倉大根を通して「したい」と活動3年目の抱負を掲げる。大竹さんは「由比ヶ浜のハマダイコンは、源流が活潑した頃より前にあったのでは」と想像を巡らせることができた。他の野菜にはない大きさが魅力。市民が浜に咲く花をダイコンとして認識し、鎌倉大根として自発的な普及に努めていることが、最も意義深いと思われている」と話す。

ズバリ直言 井上弘司

農林業をやりながら暮らしたい若者が増加している。既に地域おこし協力隊制度を農村に入った若者もいる。しかし、3年間の任期が切れた時点で、夢破れ都会に戻る者が半数に上る。協力隊制度の根幹は任期後に、その地で仕事をくり自定住することにある。だが、現実には行政や地域・集落の下働きとして扱われ、自ら仕事をつくる機会

新たな「先祖株組合」結成を

を与えられなかったケースも多く、任期満了で助成金が切れると、任地で仕事をくり出すことができず、暮らしを失い都市へ戻るわけだ。残念なことには、そうした若者は田舎を嫌いになっていく。これは受け入れ自治体と協力隊員の双方の認識の甘さであるが、ともに不幸な出来事となるばかりでなく、他地域に迷惑を掛けていることを忘れてはいけない。

住宅に囲まれた近所の小さな畑の畝に、マルチを敷く親子農家の姿があった。近くにつれ、真新しい作業服と黒長靴を身に着た青年が、実は高校生ぐらいの女子だと気づいた。父親がそえたのか灰色のいでたち。それを素直に着る彼女の決意も伝わって、「がんばれ」と心の中で応援し、その場を後にした。しばしば歩いて彼女の硬い表情が気になった。汚れた当たり前の作業でも柄物衣服やジーンズ、赤長靴なら楽しい気分になれたのではないかと。昨年、鳥取県倉吉市で木綿紬の古い野良着を収集し研究する染織家・福井貞子さんを訪ねた。かつて農村女性には藍染木綿紬を自ら織り、破れに布をあてて針目を増やし愛着を込めて着てきた。短い着とモンペの組み合わせの歴史は意外と新しく昭和期に入ってから流行とい。長い着物を端折って作業した時代、モンペ姿の嫁に「女が股割れ着物を」との姑の苦言を避けるため、屋外の物陰で着替え野良にた女性もいた。戦時中は出征で、戦後は出稼ぎで男の手ない田畑を守った女性。モンペは働き頭としての象徴だった。織物教室で技術を継承する福井さんは「織の技法は伝統を、柄は自分らしさ」と教えている。野良着は女性が染めてきた生活文化。固定し留まるのではなく、農作業のほか直売所運営や農産加工など、女性が活躍する範囲の広がりに応じ柔軟に変化している。それが農村を明るくし作業改善への意欲につながれば、なおい。

防風林 住宅に囲まれた近所の小さな畑の畝に、マルチを敷く親子農家の姿があった。近くにつれ、真新しい作業服と黒長靴を身に着た青年が、実は高校生ぐらいの女子だと気づいた。父親がそえたのか灰色のいでたち。それを素直に着る彼女の決意も伝わって、「がんばれ」と心の中で応援し、その場を後にした。しばしば歩いて彼女の硬い表情が気になった。汚れた当たり前の作業でも柄物衣服やジーンズ、赤長靴なら楽しい気分になれたのではないかと。昨年、鳥取県倉吉市で木綿紬の古い野良着を収集し研究する染織家・福井貞子さんを訪ねた。かつて農村女性には藍染木綿紬を自ら織り、破れに布をあてて針目を増やし愛着を込めて着てきた。短い着とモンペの組み合わせの歴史は意外と新しく昭和期に入ってから流行とい。長い着物を端折って作業した時代、モンペ姿の嫁に「女が股割れ着物を」との姑の苦言を避けるため、屋外の物陰で着替え野良にた女性もいた。戦時中は出征で、戦後は出稼ぎで男の手ない田畑を守った女性。モンペは働き頭としての象徴だった。織物教室で技術を継承する福井さんは「織の技法は伝統を、柄は自分らしさ」と教えている。野良着は女性が染めてきた生活文化。固定し留まるのではなく、農作業のほか直売所運営や農産加工など、女性が活躍する範囲の広がりに応じ柔軟に変化している。それが農村を明るくし作業改善への意欲につながれば、なおい。

防風林 住宅に囲まれた近所の小さな畑の畝に、マルチを敷く親子農家の姿があった。近くにつれ、真新しい作業服と黒長靴を身に着た青年が、実は高校生ぐらいの女子だと気づいた。父親がそえたのか灰色のいでたち。それを素直に着る彼女の決意も伝わって、「がんばれ」と心の中で応援し、その場を後にした。しばしば歩いて彼女の硬い表情が気になった。汚れた当たり前の作業でも柄物衣服やジーンズ、赤長靴なら楽しい気分になれたのではないかと。昨年、鳥取県倉吉市で木綿紬の古い野良着を収集し研究する染織家・福井貞子さんを訪ねた。かつて農村女性には藍染木綿紬を自ら織り、破れに布をあてて針目を増やし愛着を込めて着てきた。短い着とモンペの組み合わせの歴史は意外と新しく昭和期に入ってから流行とい。長い着物を端折って作業した時代、モンペ姿の嫁に「女が股割れ着物を」との姑の苦言を避けるため、屋外の物陰で着替え野良にた女性もいた。戦時中は出征で、戦後は出稼ぎで男の手ない田畑を守った女性。モンペは働き頭としての象徴だった。織物教室で技術を継承する福井さんは「織の技法は伝統を、柄は自分らしさ」と教えている。野良着は女性が染めてきた生活文化。固定し留まるのではなく、農作業のほか直売所運営や農産加工など、女性が活躍する範囲の広がりに応じ柔軟に変化している。それが農村を明るくし作業改善への意欲につながれば、なおい。

昨年11月末、政府は規制改革推進会議の提言の一部を修正、削除したうえで、農業競争力強化プログラムに盛り込んだ酪農制度改革を決定した。主な内容は、指定生乳生産者団体(以下、指定団体)のあり方に関わっている。①指定団体に委託販売する生産者に限定せず、すべての生産者に補給金を交付する。②生産者の不公平感を招かず、場当たり的な利用にならないよう、指定団体への生乳の部分委託を認め

ひと意見

矢坂 雅充
東京大学大学院
経済学研究科准教授



る、というものである。具体的な制度改正の内容はまだわからないが、制度設計はきわめて難しいといえよう。いま求められているのは、政府の酪農制度改革に翻弄されず、酪農生産者組織や生乳流通の基本的な問題の解

酪農制度改革 安定供給へ連携強化を

環境の変化に適切に対応できない豊かなノウハウを生乳市場の維持に基本的な問題の一つは、生乳市場の安定性を担保する多角的な仕組みである。液状の牛乳・乳製品の製品比率が高い日本では、生乳のわずかな需給ギャップによって、頻繁に乳製品の不足と過剰が生じ

連携強化を

援機能の強化・拡充を図る必要がある。酪農経営の規模拡大や肉牛部門との融合生産が進み、肉牛飼養や飼料生産・設計、ふん尿処理、経営管理など、酪農家への専門的支援

ハウスの暖房のコストダウンに
長時間燃焼 強力薪ストーブ
長い薪(1.2m)が8時間以上連続燃焼!!
石村工業株式会社
〒026-0002 岩手県金石市大平町4-2-1
TEL0193-22-3641 FAX0193-22-3638

今週のおすすめ記事
鳥インフル・口蹄疫 防疫体制強化を…2面・総合
加工食品 原料原産地表示導入へ…4面・流通

NOSAI制度70周年のキャッチフレーズ募集
締め切り迫る 31日まで (詳細は7面)

未来へ、まっすぐ。
2016年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞
日本経済新聞賞 受賞
2016年(第59回) 十大新製品賞 受賞
業界初 田植作業をラクにする!!「直進キープ機能」搭載
1行程目に基準線を登録すると、次行程からは「GSスイッチ」を押すだけで自動的に基準線に対して平行走行。簡単にまっすぐ植付をすることができます。
FarmPilot EP30-6S
株式会社クボタ
For Earth, For Life KUBOTA
直進キープ機能 Go Straight
不慣れな方も簡単まっすぐ田植え
経営者も操作指導の負担軽減
熟練オペレータの作業負担軽減
http://www.jnooki.kubota.co.jp/